

生活創造専修

ものづくりと情報分野 技術分野

小学校
コース

中学校
コース

テクノロジーが創る未来を学ぶ

現在、世界中の国々が技術教育に注目し、教育課程の重要な柱として研究、実践に取り組みはじめています。技術が高度に発達し、影響力を発揮する現代においては、技術や技術的なプロセスを、私たち自身で創造し、適切に管理、運用することが、持続可能な社会の構築に欠かせないと考えられているからです。生活創造専修のものづくりと情報分野および技術分野では、この技術教育の理論と方法を、実験や実習などの体験的、実践的な方法によって修得します。また、材料と加工、エネルギー変換、生物育成、情報・通信など、現在の社会、そして未来を創る、多彩で魅力あふれる専門的技術を学びます。そして技術全般に存在するシステムや概念、社会背景について理解を深め、技術教育の専門家としての実践力を高めます。

私たちは、入学するみなさんが、教育者として、一人の人間として、人生を大きく飛躍させる技術を必ず身につけられると確信しています。

こんな授業 こんな研究

浅田 茂裕 教授

— ヒトの暮らし、育ちに対する木材利用の意味を考える —

地球の気候変動やSDG sへの関心の高まりから、木材の利用が積極的に検討されています。木材は再生可能な資源であると同時に、その利用にあっては、製造過程はもちろん、廃棄時における環境負荷が他材料に比べ圧倒的に小さく、また公益的機能を有する森林の持続性に経済的側面から貢献します。材料としての木材は、ヒトと生理的親和性が高く、住空間はもちろん、公共的な空間での利用で癒しや快適性をもたらします。私の研究室では、木材の高付加価値利用の方法について検討するとともに、既存の木質空間の快適性、社会的価値について、実験や調査研究を進めています。また、講義においては、具体的な事例や最新の研究成果の紹介や製品開発にも取り組んでいます。新しい木材利用の意義や価値を創造するために、これからも地域、企業そして学生のみなさんとともに考えていきたいと思ひます。



研究成果を活かした木質化施設
(埼玉農林公園)



木材加工の基礎の講義風景



木材を使ったものづくり実践



栽培の基礎での体験活動



サクラソウ自生地の生態調査(卒業研究)

専任教員

山本 利一	技術教育(教材開発)
浅田 茂裕	木材加工(木質環境)
内海 能亜	機械(塑性加工)
荒木 祐二	栽培(農地生態)

主な授業科目

木材加工の基礎、木の学校・木の教育、ものづくりと教育、製図の基礎、金属加工の基礎、機械技術の基礎、電気技術の基礎、ロボット入門演習、栽培技術の基礎、栽培植物、スクールガーデニング、環境問題と技術、情報とコンピュータ、技術科教材開発論 他

STUDENT'S VOICE



4年生
吉田 ゆきの

ものづくりと情報・技術の分野の最も大きな特徴は、少人数なところだ。多くの講義と一緒に過ごし、課題をやったり、ご飯を食べたりと、みんなと親しく、細やかな関係を築けるところが魅力です。講義では、技術分野の内容である木材加工や金属加工、栽培や情報に関することを実習、実践的に学びます。教員になるための知識はもちろん、ものづくりが好きな方は、楽しく学べると思ひます。教員になりたい人におすすめの分野です!